

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 柳澤哲二
(JASDAQ コード番号 4667)
問合せ先 取締役業務統括本部長 加藤 淳
(Tel 052-950-7500)

中期経営計画(平成 26 年 3 月期～平成 28 年 3 月期)の策定について

当社は、平成 25 年 3 月期決算及びグループ各社の業績を踏まえ、このたび平成 26 年 3 月期から平成 28 年 3 月期を計画期間とする中期経営計画(以下、新中期経営計画)を下記のとおり策定しましたので、お知らせいたします。

記

策定にあたって

当社グループは、平成 23 年 3 月期～平成 25 年 3 月期の 3 事業年度の中期経営計画(以下、前中期経営計画)として、次の 3 点を掲げ、事業展開を行ってまいりました。

- (1) MMS ビジネスを主力ビジネスへとする更なる成長
- (2) 準天頂衛星の打ち上げを受けた測量業務における観測作業のソフトウェア開発・販売強化
- (3) お客様に向けたサポートサービスのメニュー強化

前中期経営計画の結果としては、新たに公共測量において MMS の利用が認められ社会インフラ整備に係る必要性の再認識を受けて公共事業予算が執行され始めました。それにより、MMS を用いた計測業務受託増から普及型 MMS 販売が当社収益に貢献するまでに至りました。さらに、国産「初」となる準天頂衛星「みちびき」の試験データが民間利用に向けて大いに期待される中、I T S 業界に向けて MMS が生成する高精度な三次元位置情報のデータ利活用の提案活動を展開してきました。

また、ライカジオシステムズ株式会社とのアライアンスのもと、測量現場の観測作業の効率化を実現するトータルステーション「ATStation (エーティーステーション)」をはじめとする測量計測機器を組み合わせ合わせたソフト・ハードセットの提案活動を展開してきました。

以上の結果、前中期経営計画の最終事業年度であります平成 25 年 3 月期においては、売上高、営業利益ともに計画値を上回る結果となりました。

当社グループといたしましては、測量の枠に囚われずモノの位置情報の分野でリーディングカンパニーであり続けることを経営ビジョンに掲げた新中期経営計画を策定し、スピードをもって本計画を遂行していくことで、当社グループの更なる成長と企業価値の向上を図り、投資家の皆様のご期待にお応えする企業を目指してまいります。

アイサンテクノロジー中期経営計画の概要

1. 計画期間

平成 26 年 3 月期から平成 28 年 3 月期

2. 経営基本戦略

平成 30 年 4 月に実用準天頂衛星が 24 時間体制となる時代を見据えた、新次元の「新・深・真」なる測地系測量システム開発に邁進する

3. 中期ビジョン

- ◆ コア技術の高精度演算、高精度位置情報解析ソフト群のもと測地系測量システム製品の開発と拡販による更なる成長へ挑戦
- ◆ 実用準天頂衛星信号と高精度三次元計測車両 MMS を融合した製品開発、並びに ITS 等の新市場への位置情報ビジネスへの挑戦
- ◆ 更に続く研究開発への投資の中、更なる経営の効率化への挑戦

4. 中期経営目標(連結)

(単位：千円)

	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期
売上高	1,800,000	1,900,000	2,000,000
営業利益	50,000	55,000	60,000
当期利益	30,000	33,000	38,000

※ 上記の経営目標は、本資料発表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、この計画は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等様々な要因により変動する可能性があります。

5. 平成 26 年 3 月期のコミットメント

- ◆ 売上高、販売管理費、利益の全項目の目標達成
- ◆ 研究開発成果として、スマートフォン、タブレット等に対応した新製品のリリース
- ◆ MMS 事業の収益拡大実現に向けた体制、並びに「みちびき」を利活用する研究、開発体制を強化

以上